

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当

昭和59年11月6日 第29報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue*</i>	40		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	200		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	120		
(珪) <i>Melosira italica</i>	100		
(珪) <i>Melosira distans</i>	300		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	40		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	40		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	200		
(渦) <i>Gymnodinium</i> sp.	60		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160		
(み) <i>Euglena proxima</i>	20		
(緑) <i>Tetraspora lacustris</i>	320	○	
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	1280	◎	◎
(緑) <i>Crucigenia</i> sp.	320	○	
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	100		○
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	20		
(藍) 藍藻綱	40	1.2	0.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	200	6.0	1.2
(珪) 珪藻綱	820	24.6	13.6
(渦) 渦鞭毛藻綱	60	1.8	1.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	4.8	6.5
(み) みどり虫藻綱	20	0.6	5.2
(緑) 緑藻綱	2040	61.1	71.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	3340		
種 類 数	17	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	4.21E+06

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Pediastrum biwae</i>	1280

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Tetraspora lacustris</i>	320

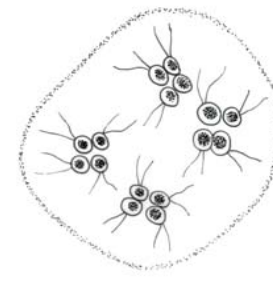
### 植物プランクトン第1優占種



***Pediastrum biwae***  
(ビワクンショウモ)  
緑藻綱

16、32、64細胞からなる群体を形成する。各細胞は1本の角状突起を持ち、突起同士が対をなすのが特徴である。琵琶湖の固有種とされ、ビワクンショウモと呼ばれている。

### 植物プランクトン第2優占種



***Tetraspora lacustris***  
(テトラスポラ)  
緑藻綱

細胞は4個ずつ規則正しく配列し、中空の球体をなす。2本の偽せん毛を有する。